

淀川管内水害に強い地域づくり 協議会の活動内容について



水防災意識社会
再構築ビジョン

①平成28年度の活動内容

①平成28年度の活動内容

■水防災意識社会再構築ビジョンに基づく活動について(1/2)

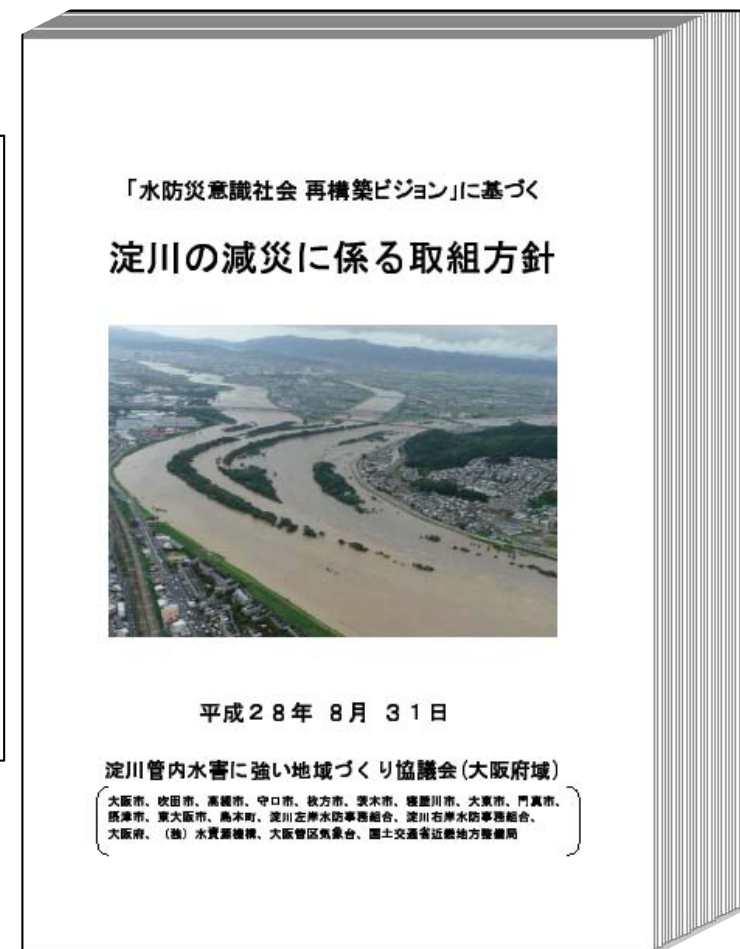
水防災意識社会再構築ビジョンに基づき、現状と課題、減災のための目標、目標達成に向けた取組の進め方、概ね5年で実施する取組についてとりまとめ、減災に係る「**取組方針**」を策定しました。



京都府域

目 次

1. はじめに	1
2. 本協議会の構成委員	3
3. 淀川水系の概要と主な課題	4
4. 現状の取組状況及び課題	7
1) 情報伝達、避難計画等に関する事項の現状と課題	7
2) 水防に関する事項の現状と課題	10
3) 氾濫水の排水に関する事項	11
4) 河川管理施設の整備について	11
5. 減災のための目標	12
6. 淀川管内における目標達成に向けた取組の進め方	13
7. 概ね5年で実施する取組	14
1) ハード対策の主な取組	14
2) ソフト対策の主な取組	16
8. フォローアップ	24



大阪府域

①平成28年度の活動内容

■水防災意識社会再構築ビジョンに基づく活動について(2/2)

減災のための目標(5年間で達成すべき目標)

淀川管内における流域特性や平成25年台風第18号及び平成27年9月関東・東北豪雨の教訓を踏まえ、淀川管内で発生しう
る大規模水害に対し、「逃げる・防ぐ・取り戻す」ことを目指す。加えて、次世代に「水害に強い地域」と水防災意識を「継承」する。

目標を達成するために概ね5年間で実施する具体的な取組(案)

1. ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 危機管理型ハード対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2. ソフト対策の主な取組

① 地域ごとの特性に応じた避難方法を踏まえ、住民の主体的かつ適切な避難行動を促すための取組

■ 想定最大規模洪水を対象とした水害ハザードマップの策定・周知等

- 水害ハザードマップの更新・周知
- 避難に資するマップ等の整備・拡充
- ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

■ 適切な避難行動の実現に向けた取組

- 避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備
- 関係機関との情報共有体制の整備
- 避難計画等の策定
- 避難訓練の実施
- 避難誘導體制の整備

■ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成
- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)

■ 防災教育や防災知識の普及

- 住民等を対象とした水防災に関する講習会等の開催
- 小学生や教員を対象とした水防災に関する講習会等の実施

■ 避難行動のための情報発信等の充実

- 避難行動に資する情報発信等の充実

② 発災時に可能な限りの避難時間を確保し、人命と財産を守るための水防活動強化の取組

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 市町と水防事務組合(水防団(消防団))の連絡体制の再確認等
- 水防事務組合(水防団(消防団))や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進

③ 一刻も早い生活再建及び都市機能・社会経済活動の回復のための排水活動強化の取組

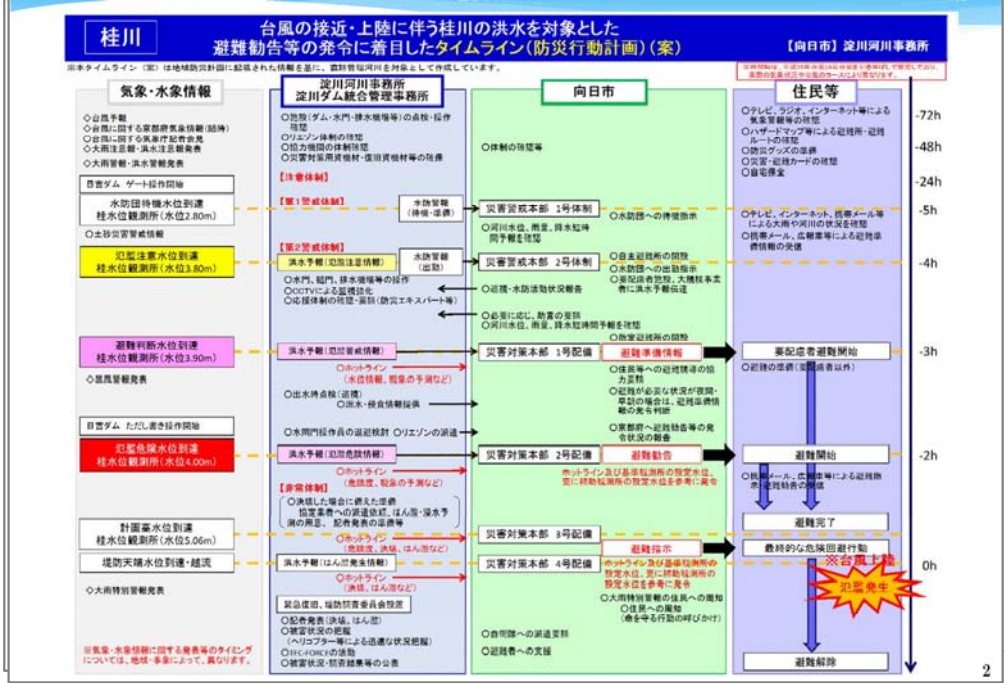
■ 排水施設の耐水化及び排水訓練の実施

- 排水施設の耐水化
- 排水検討及び排水訓練の実施

避難のためのタイムライン(案)の作成

洪水時において市町が適切な避難勧告等を発令するために、各自治体と河川管理者等とで共有する避難のためのタイムライン(案)を作成しました。

【向日市】 避難のためのタイムライン(案)



【守口市】 避難のためのタイムライン(案)

